

# 〇〇〇学級 音楽科学習指導案

- 1 題材 かくれんぼをしてうたおう
- 2 教材 「チロチロこおろぎ」(原曲 こおろぎ) 関根栄一 作詞 芥川也寸志 作曲  
 「ポンポコたぬき」(原曲 ちょっとってぼん) 早川四郎 作詞・作曲  
 「ピョンピョンうさぎ」(原曲 とんとんうさぎ) 吉岡治 作詞 越部信義 作曲
- 3 指導に当たっての考え方

## 教材分析

本題材は、森の中にいるいろいろな動物の動きを思い描き、教師や友達の表現を聴き合ったり比べたりすることで、拍やリズムを感じ取って身体を動かしながら自分なりに表現していくものである。

組曲「森のかくれんぼ」は、楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」「どうぶつさんとかくれんぼ」で構成されている。森にいる動物たちが、楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」でかくれんぼをすることを決め、それぞれの動物たちがかくれる場所をさがす楽曲を歌い、もう一度楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」の歌ってかくれんぼ遊びをするというストーリー性のあるものである。

特徴的な要素は以下の通りである。

楽曲「チロチロこおろぎ」は、2拍子の曲でゆっくりとした曲である。「チロチロリン」「コロコロリン」という擬声語が2回繰り返されており、こおろぎが鳴く様子が表わされている。また、草の中という歌詞からこおろぎのいる場所、「あっちで」「こっちで」という歌詞からかくれる場所を探している様子を思い描きやすい。また、「チロチロ」の部分は16分音符で展開しているが、一音ずつ対応しているので拍をとらえて表現しやすい。

### チロチロこおろぎ

楽曲「ポンポコたぬき」は、4拍子の短調の曲である。たぬきがおなかをたたいている様子が「ポンポコポン」という擬態語で表わされている。「おなかをたたいた」「しっぽをふった」「どこにしようかな」という歌詞から、たぬきがおなかをたたいたりしっぽをふったりしながらかくれる場所を探す様子を思い描きやすい。また、全体のリズムがシンクォーションで展開しており、「ポンポコポン」の部分も一音ずつ対応しているので拍をとらえて表現しやすい。

### ポンポコたぬき

楽曲「ピョンピョンうさぎ」は、4拍子の軽快な曲である。うさぎがはねる様子を「ピョンピョンピョン」という擬態語で表わされている。「あしでじめんを」「あっちにいこうかな、こっちにいこうかな、どっちにしようかな」という歌詞から、うさぎが森のどこにかくれようか思案している様子を思い描きやすい。また、「ピョンピョンピョン」のところは四分音符で展開しており、一音とピョンが対応しているので拍をとらえて表現しやすい。

### ピョンピョンうさぎ

## 児童の実態

- 本学級は、3年生1名、4年生1名、5年生2名、6年生2名の計6名で構成されており、その発達段階や生活経験は様々である。
  - リズミカルな音楽が流れると、手拍子をしたり体を揺らしたりしながら聴く、知っている曲が流れると印象的な部分を歌ったり歌に合わせて手足を動かしたりするなど音楽に親しみを持つ姿が見られる。
  - 知っている動物が出てくる楽曲で印象的な動きを部分部分で真似たりするが、場に合った動きを思い描いての表現までには至っていない。
- 各児童の実態は以下の通りである。

個別の目標		歌唱	器楽	身体表現	拍	鑑賞
A G	4年女子	小節を歌う。	教師と一緒に拍やリズムに合わせて打楽器を鳴らす。	友だちと一緒に手足や身体を動かす。	音楽のはじめや終わりの拍で合わせる。	友だちや教師の歌や演奏をできるだけ長い間聴く。
B G	5年男子	フレーズを歌う。	師と一緒に拍やリズムに合わせて打楽器を鳴らす。	モデル演示を見て手足を部分的に動かす。	拍の流れに合わせて合わせる。	好きな歌や曲を演奏してもらって聴く。
	6年女子	フレーズを歌う。	音楽が流れている中で打楽器を鳴らす。	友だちと一緒に手足や身体を動かす。	音楽のはじめや終わりの拍で合わせる。	友だちや教師の歌や演奏を終わりまで聴く。
C G	6年男子	フレーズを歌う。	絵譜を見て打楽器を鳴らす。	友だちと一緒に手足や身体を動かす。	拍の流れに合わせて合わせる。	好きな歌や曲を演奏してもらって聴く。
	3年男子	どならずちょうどよい声の大きさで歌う。	旋律楽器を演奏する。	部分的に動きを作って手足や身体を動かす。	速さの違いを感じる。	友だちや教師の歌や演奏をできるだけ長い間聴く。
	5年男子	どならずちょうどよい声の大きさで歌う。	旋律楽器を演奏する。	一人で手足や身体を動かす。	休みの拍を感じて合わせる。	友だちや教師の歌や演奏を終わりまで聴く。

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<b>曲想や楽曲の特徴を聴く活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 場の様子をとらえさせるための情景画の提示</li> <li>◎ 教師の範唱の聴き取り</li> <li>○ 友達の表現の聴き比べ</li> </ul>	<b>つかむ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森と一緒に歌いたい。</li> <li>・出てくる動物さんと一緒に歌いたい。</li> </ul>	森の情景や楽曲に登場する動物に出会うという場面設定により、みんなで歌うことをつかませること <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森を描いた情景画や動物の切り絵、効果音を流して森の情景を思い描くこと</li> <li>○ ペープサートを操作しながら楽曲を聴くことで楽曲に出てくる動物たちの動きをつかむこと</li> <li>○ 教師と一緒に歌うことで森の動物と一緒に歌いたいという思いを持つこと</li> </ul>
<b>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 教師や友達の表現の聴き比べ</li> <li>◎ 教師や友達の表現のよさを取り入れるための聴き比べ</li> </ul>	<b>深める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の動物さんみたいな動きにしたいな。</li> <li>・友達や先生のよいところを真似して歌いたい。</li> </ul>	楽曲に登場する動物の動きを思い描き、自分なりの歌唱表現工夫すること <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ペープサートを持って拍やリズムを感じ取ること</li> <li>○ 身体全体を動かすことで登場する虫や動物の動きを描くこと</li> <li>○ 手具を操作して表現することで自分なりの表現を創り出す</li> </ul>
<b>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 表現の聴き合い</li> </ul>	<b>味わう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な動物さんと一緒に歌うと楽しいな。</li> <li>・工夫した歌方を友達に聴いてもらってよかったな。</li> </ul>	自分で創り上げた表現を歌ったり聴いたりして表現する楽しさを味わうこと <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好きな表現方法を選択して歌うこと</li> <li>○ 友達や教師の表現を聴き合うこと</li> </ul>
<b>題材目標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場する虫や動物の動きを思い描きながら、虫や動物たちと一緒に楽しく歌いたいという表現への思いをもって歌おうとしている。(関心・意欲・態度)</li> <li>○ 登場する虫や動物の動きをよりよく表現するために、身体表現をくふうしたり手具を操作したりすることで、楽曲の拍の流れを感じ取り、楽しく歌うことができる。(感受・表現の工夫)</li> <li>○ 拍や特徴的なリズムを感じ取って歌うことができる。(表現の技能)</li> </ul>		

4 指導計画（5時間）

	つかむ①	深める③			味わう①（本時）
ねらい	楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」に出会い、森の情景や登場する動物を思い描くことができる。	森のどうぶつ（こおろぎ、たぬき、うさぎ）と一緒に、拍の流れを感じながら身体表現をしたり、歌ったりすることができる。			「どうぶつさんとかくれんぼ」を振り返り、身体表現をしたり歌ったりすることができる。
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>場の様子を知ること</li> <li>登場する動物を知ること</li> </ul>	AG：楽曲に出てくる動物の動きを思い描き、擬声語や擬態語の入ったフレーズを歌うこと BG：楽曲に出てくる動物の動きを思い描き、拍の流れを感じながら歌うこと CG：楽曲に出てくる動物が、拍の流れによって場面の様子、虫や動物の動きを思い描きながら歌うこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな表現方法で歌ったり身体表現をする楽しさを味わうこと</li> </ul>
主な学習活動と内容	1 「森のかくれんぼ」に出会う。 <b>【聴く活動①】</b> (1) 森の中で聴こえる虫の声や鳥の鳴き声を聴きながら情景画を見る。 (2) 楽曲「森のかくれんぼ」をパネルシアターを見ながら聴く。 ○ 場の様子と登場する動物を知ること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">森に行ってどうぶつさんに会おう。</div> 2 楽曲「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」を歌う。 (1) 楽曲「チロチロこおろぎ」を歌う。 ○ ペープサートを見ながら登場する動物を知ること ○ 歌詞を見ながら歌うこと (2) 楽曲「ポンポコたぬき」を歌う。 ○ ペープサートを見ながら登場する動物を知ること ○ 歌詞を見ながら歌うこと (3) 楽曲「びよんびよんうさぎ」を歌う。 ○ ペープサートを見ながら登場する動物を知ること ○ 歌詞を見ながら歌うこと 3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習の見通しを持つ。 (1) 組曲「森のかくれんぼ」を手具を操作して歌う。 (2) 聴き合い、学習を振り返る。 <b>【聴く活動②】</b> (3) 次時からの学習について話し合い、見通しを持つ。 ○ こおろぎといっしょに歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">どうぶつさんといっしょに森でかくれんぼをして歌おう。</div>	1 楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」を聴いて、学習のめあてについて話し合う。 ○ パネルシアターを見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">森でかくれんぼをしてこおろぎさんといっしょに歌おう</div> 2 楽曲「チロチロこおろぎ」を歌う。 (1) ペープサートを持って歌う。 (2) 身体全体を動かして歌う。 (3) 手具を操作して友達と歌い比べをし、表現の付加修正をする。 3 本時のまとめとして歌い、次時学習について話し合う。 (1) 手具を操作して歌う。 (2) お互いに聴き合いながら学習を振り返る。 <b>【聴く活動③】</b> (3) 次時の学習について話し合う。 ○ たぬきになって歌うこと	1 楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」を聴いて、学習のめあてについて話し合う。 ○ パネルシアターを見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">森でかくれんぼをしてたぬきさんといっしょに歌おう</div> 2 楽曲「ポンポコたぬき」を歌う。 (1) ペープサートを持って歌う。 (2) 身体全体を動かして歌う。 (3) 手具を操作して友達と歌い比べをし、表現の付加修正をする。 3 本時のまとめとして歌い、次時学習について話し合う。 (1) 手具を操作して歌う。 (2) お互いに聴き合いながら学習を振り返る。 <b>【聴く活動③】</b> (3) 次時の学習について話し合う。 ○ うさぎになって歌うこと	1 楽曲「どうぶつさんとかくれんぼ」を聴いて、学習のめあてについて話し合う。 ○ パネルシアターを見ながら歌うこと <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">森でかくれんぼをしてうさぎさんといっしょに歌おう</div> 2 楽曲「ピョンピョンうさぎ」を歌う。 (1) ペープサートを持って歌う。 (2) 身体全体を動かして歌う。 (3) 手具を操作して友達と歌い比べをし、表現の付加修正をする。 3 本時のまとめとして歌い、次時学習について話し合う。 (1) 手具を操作して歌う。 (2) お互いに聴き合いながら学習を振り返る。 <b>【聴く活動③】</b> (3) 次時の学習について話し合う。 ○ 自分のなりたい虫や動物になって歌うこと	1 組曲「森のかくれんぼ」を聴いて、学習のめあてについて話し合う。 ○ パネルシアターを見ながら聴く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">森でかくれんぼをして虫やどうぶつさんといっしょに歌おう</div> 2 組曲「森のかくれんぼ」を歌う。 (1) 楽曲「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」を歌う。 (2) 楽曲「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」をペープサートか手具を持って歌う。 (3) 自分の表現したい動物を選び好きな表現方法で組曲「森のかくれんぼ」を歌い、表現の付加修正を行う。 3 題材学習のまとめとして歌い、創り上げた表現のよさを味わう。 ○ 自己・相互評価をしながらか表現すること ○ 題材の振り返りを行うこと <b>【聴く活動④】</b>

5 本時 味わう段階（5 / 5）

6 本時の目標

- ・ 友達や教師と一緒に身体表現をしたり歌ったりして、音楽活動に楽しく取り組むことができる。
- ・ 森の虫や動物が歌ったり踊ったりする様子を思い描いて楽曲を聴いたり歌ったりすることができる。

個別の目標

AG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達と一緒に手足や身体を動かしながら楽曲を聴くことができる。</li> <li>・ リズムフレーズの拍の流れによって、フレーズを歌うことができる。</li> </ul>
BG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人で手足や身体を動かしながら楽曲を聴くことができる。</li> <li>・ 拍の流れによって、始めから終わりまで歌うことができる。</li> </ul>
CG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞の表す情景に合わせた動きを創り、手足や身体を動かしながら楽曲を聴くことができる。</li> <li>・ 休みの拍を感じながら、歌詞の場を感じて歌うことができる。</li> </ul>

7 準備 情景画、きり絵（こおろぎ・たぬき・うさぎ）、ペープサート（こおろぎ・たぬき・うさぎ）  
手具（こおろぎのバイオリン、たぬきのおなか・たぬきの手、うさぎの耳）  
伴奏フロッピー、伴奏くん、歌詞、絵譜

8 本時指導の考え方

森の中にかくれんぼをする虫や動物たちの動きや情景を思い描きながら楽しく表現することが主なねらいである。

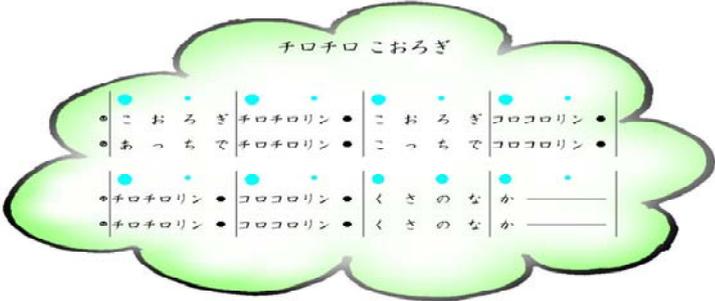
そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、組曲「森のかくれんぼ」を聴かせて登場する虫や動物を想起させる。情景画や、切り絵を見せることで、「森の中で、虫や動物たちとみんな一緒ににかくれんぼをして楽しく歌いたい」という本時学習のめあてについて話し合わせる。
- 次に、楽曲「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」の歌詞を確認しながら一緒に歌う。  
そのために、
  - ① 教師がトライアングル・たいこ・タンバリンを使って拍打ちをすることで、絵譜を見ながら拍の流れによって歌うことができるようにする。
  - ② そして、ペープサートか手具を選んで自分で歌う。AG は擬声語・擬態語のあるフレーズを強調した教師のモデル演示を見ながら共に表現させる。BG は、拍や動きを強調したモデル演示を見ながら表現させる。CG は、歌詞に合わせた動きに目を向けるように声かけをしたり、拍を強調した演示を見せたりしながら表現させる。それぞれの楽曲に合わせて、こおろぎではトライアングル、たぬきではたいこ、うさぎではタンバリンを教師がならして拍を感じ取らせる。
- さらに、自分の表現したい動物を選ばせ、好きな表現方法で歌わせる。そのために、虫や動物の様子を思い描き、拍やリズムを感じ取って身体全体を動かし表現できるようにするために、友達の表現を見て、まねてみたい動きや取り入れてみたい動き、歌い方について話し合う。AG は、擬態語・擬声語のあるフレーズを中心に教師と一緒に表現させる。BG は、擬態語・擬声語のあるフレーズを中心に、身体を左右に動かしたりリズムに合わせて歩いたり拍を感じながら一人で表現させる。CG は、歌詞に描かれている場面の様子や虫や動物の動きを思い描きながら、身体を左右に動かしたりリズムに合わせて歩いたり拍の流れによって表現させる。それぞれ楽曲に合わせて、子どもが楽器をならして拍を感じ取らせる。
- 最後に、表現の高まりを実感し、創り上げた表現のよさを味わうことができるように、発表・表現の場を設定し歌う。その時に、相互に評価したものを出し合いながら表現を練り上げる。  
組曲を通して創り上げた表現を発表し、交流することで好きな動物になって表現する満足感、達成感を味わうことができるようにする。【聴く活動④】

【聴く活動④】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
創り上げた表現で歌ったり聴いたりして、表現する楽しさを味わうことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工夫したり取り入れたりした表現を述べてから表現させ、それに合った表現ができているかどうか相互に評価しながら付加修正する。</li> <li>AG：教師と一緒に発表・表現する。</li> <li>BG：表現したいものを想起させる問いかけをし、教師がBGの模倣をしてから教師と一緒に発表・表現する。</li> <li>CG：表現したいものを引き出す問いかけ、表現したものを再動作化させる問いかけをしてから発表・表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○○さんのは、歌に合わせて動物さんみたいに手を動かしていたのがよかったな。</li> <li>・ 「ポンポコポン」のところは、手で大きくおなかをたたいて歌った方が、たぬきさんがもっと楽しそうに踊っているように見えるよ。</li> <li>・ みんなと一緒に好きな動物さんになって歌えて楽しかったな。</li> </ul>
表現への満足感・達成感をもたせることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感想を発表し、学習の振り返りをさせる。教師は、一人一人の子どもの表現のよさについて賞賛する。</li> </ul>	

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p>1 前時学習を振り返り、本時のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 効果音を聴きながら情景画を見て森のイメージを想起する。 ○ 森のイメージを膨らませること。</p>  <p>(2) 登場する虫や動物に着目しながら、組曲「森のかくれんぼ」を聴く。 ○ 登場する動物の確認をすること</p>  <p>(切り絵)</p> <p>(3) 本時学習のめあてについて話し合う。 ○ 本時の目標を明確にもつこと</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>森でかくれんぼをして虫やどうぶつさんと いっしょに歌おう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森で聞こえてくる効果音（鳥・虫の声）を聴かせる。</li> <li>・ 情景画を提示し、森で学習をすることを確認する。</li> <li>・ 組曲「森のかくれんぼ」の歌を切り絵を提示しながら聴かせ、登場する虫や動物を確認する。</li> <li>・ かくれんぼする木や情景図の上で切り絵を動かす。</li> </ul>
<p>2 森の様子や登場する虫や動物の動きを思い浮かべながら組曲「森のかくれんぼ」を歌う。</p> <p>(1) 楽曲「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」の歌詞を確認しながら歌う。 ○ 絵譜を見ながら大きな声で歌うこと。 ○ 拍の流れにのって歌うこと</p>  <p>(絵譜)</p> <p>(2) 楽曲「チロチロこおろぎ」「ポンポコたぬき」「ピョンピョンうさぎ」をペープサートか手具を持って歌う。 ○ ペープサートか手具どちらかを選び歌うこと</p>  <p>(ペープサート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵譜を提示し、それぞれの楽曲を一緒に歌う。</li> <li>・ 拍の流れにのれるように、教師が打つトライアングル・たいこ・タンバリンで拍を感じ取らせる。</li> <li>・ 楽曲の拍の流れやリズム、動物の動きを想起させるためにペープサートか手具を持たせて表現させる。 AG：前に立って、擬声語・擬態語のあるフレーズを強調した教師のモデル演示 BG：拍や動き強調したモデル演示 CG：歌詞に合わせた動きに目を向けさせる声かけ、拍を強調した演示</li> </ul>

こおろぎ



たぬき



うさぎ



(手具)

(3) 自分の表現したい動物、好きな表現方法を選び、表現の再動作化をさせる。

- 友達と交流する中で、表現方法について付加修正を行うこと

### 3 本時学習を振り返り、次時学習の見通しを持つ。

(1) 表現したことを振り返り発表し、友達の表現を聴く。

- 拍の流れやリズムによって表現すること
- 森の虫や動物の動きの表現の仕方について
- 森の様子を思い描いた表現の仕方について

【聴く活動④】

(2) 表現したことを振り返り、表現する。

- 一人一人発表すること

(3) 本時学習を振り返る。

- ・拍の流れにのれるように、CGの児童が打つトライアングル・たいこ・タンバリンで拍をとらえさせる。

- ・表現方法を（ペープサートか手具）選択させ、表現の再動作化をさせる。

- ・個別の課題を明確にする。

AG：擬声語・擬態語のあるフレーズを教師と一緒に歌う。

BG：拍を感じながら擬声語・擬態語のあるフレーズを一人で歌う。

CG：拍の流れにのって、場面の様子、虫や動物の動きを思い描きながら一人で歌う。

※ 友達の表現を取り入れながら拍の流れにのって身体を動かしながら歌っている。

- ・表現したことを振り返り、一人一人発表させる。

- ・一人一人の表現に賞賛や励ましをすることで、達成感や成就感を持たせ、表現の楽しさに気づかせる。

- ・自分の表現や友だち表現のよさを感じ取らせるようにする。

## 場の設定

